

# 尚絅子育て研究センター 第19回公開シンポジウム

◎ **講演** 〈9:30～11:00〉 管理棟5階 大講義室 **A**

## 『子どもの育ちを丁寧に見つめる—多面的な子ども理解に向けて—』

講師：川田 学氏（北海道大学准教授）

保育というのは、「子ども理解」から始まると言われています。そして、保育者には、一人ひとりの子どもを支え、心も身体も豊かに育つよう、それぞれの思いや育ちを丁寧にとらえ、その内実を理解し、関わりを深めていくことが求められます。保育の質を向上させていくためには、保育者の専門性の根幹となる「子ども理解」を今こそ問い直してみることが大切なのではないでしょうか。これまでの「発達」概念の枠にとどまることなく、今、私達の目の前にいる「その子」を理解するとはどのようなことなのか、またどのような視点から、何をどうとらえていく必要があるのか、共に考え合っていけたらと思います。

川田 学（かわた まなぶ）

（北海道大学准教授）

### 〈プロフィール〉

#### 略歴：

1973年生まれ。東京都出身。東京都立大学大学院人文科学研究科（心理学専攻）博士課程単位取得満期退学、博士（心理学）。2005年に香川大学教育学部幼児教育講座の講師、2007年に香川大学教育学部幼児教育講座准教授を経て、2010年に北海道大学大学院教育学研究院附属子ども発達臨床研究センター准教授に至る。

#### 専門：

発達心理学、保育研究。  
乳幼児期における自己意識や他者理解の発達に関する基礎研究にはじまり、現在は保育所や幼稚園での保育過程における子どもの姿の変容をとらえる方法や理論を探究している。札幌市のNPO法人理事として、地域子育て支援拠点の運営にも携わり、支援者や保護者との学習の場や研修のあり方についても検討している。



#### 主な著書

- 『保育的発達論のはじまり:個人を尊重しつつ、くつながり>を育むいとなみへ』ひとなる書房(単著、近刊)。
- 『遊び・育ち・経験:子どもの世界を守る』明石書店(編著、2019)。
- 『どう変わる? 何が課題? 現場の視点で新要領・指針を考えあう』ひとなる書房(共著、2017)。
- 『乳児期における自己発達の原基的機制:客体的自己の起源と三項関係の螺旋効果』ナカニシヤ出版(単著、2014)。
- 『0123発達と保育:年齢から読み解く子どもの世界』ミネルヴァ書房(共著、2012)。

◎ **対談** 〈11:10～12:30〉 管理棟5階 大講義室 **A**

## 『保育のはじまりとしての子ども理解—実践を通して考える—』

シンポジスト：鍋田まゆ氏（黒肥地保育園主任保育士）

山下順子氏（認定NPO法人とら太の会理事長）

川田 学氏（北海道大学准教授）

コーディネーター：二子石諒太（本学幼児教育学科教員）

はじめに、鍋田まゆ先生（黒肥地保育園）、山下順子先生（とら太の会）に、日々の保育実践の中で大事にしている子ども理解の視点についてお話していただきます。

その後、論点を整理しながら、「子ども理解」への視点、実践に繋がる有効な手立てについて、川田学先生や会場からの発言も交えて、対談ができればと考えております。

# 第34回サマーセミナー 各講座内容のごあんない

◎ **講座** 〈13:30～15:30〉

1 **人と関わる力を育む保育**（2号館1階 第1講義室 **B**）…………… 講師 片桐真弓、家入叶衣  
（阿蘇中央幼稚園）

実習生や新任者の段階から、保育経験を重ねることで、子ども理解や保育者の関わりは変わってきたことでしょう。保育歴5年目の家入さんから事例を提供してもらい、一人ひとりの子どもの育ち、子ども同士の人間関係の育ち、学級の育ち等を捉え、明日の保育に向けての保育者の援助配慮について、共に考えてみましょう。教育要領や保育指針等をお持ちの方はご持参ください。

2 **発達障害について**（2号館1階 第3講義室 **C**）…………… 講師 安村由希子

本講座では、発達障害を取り上げます。発達障害は主に3つの障害(学習障害、ADHD、自閉症スペクトラム障害)に分けられます。本講座では、3つの障害の定義、分類、割合、特性といった基礎的な事柄から、支援方法といった具体的な中身についても触れていきたいと思います。

3 **子どもたちの命を守るということ**（2号館2階 視聴覚室 **D**）…………… 講師 岩永留美、上村若子  
（BLSくまもと）（BLSくまもと）

健康で安全な保育環境を提供するにはどのようなスキルと知識を習得すればいいのか。とはいえ園内での子どもの病気やケガは成長の過程であり、ゼロにするのは難しいもの。だからこそいざという時のために、これまでの「知っている」から「だからこうなのね」へ少し踏み込んだ乳幼児救急法知識とスキルに触れてみませんか? 最新の蘇生ガイドライン2015を取り入れた内容でお伝えします。実践も行いますので動きやすい服装でご参加ください。定員は30名までです。

4 **ペーパークイリング**（1号館1階 図工室 **E**）…………… 講師 坂本健

ペーパークイリングとは、15世紀頃のヨーロッパで始まった、装飾を目的とする、紙を用いた伝統的な工芸です。材料は台紙と紙の帯を使い、専用の道具に巻きつけながら作ります。紙という素材の新たな可能性を感じていただければと思います。

5 **楽しい楽器作り**（1号館2階 リトミック室 **F**）…………… 講師 中山健、森みゆき  
（熊本市立西原小学校）

30年以上小学校で教えてこられた中山先生は、子ども達が喜ぶ音遊びや楽器遊びのアイデアをたくさんお持ちです。幼稚園や保育園を卒園した後、子ども達が小学校でどのように成長していくのか、具体的に教えていただきながら、楽しく音楽で遊ぶ方法を学びましょう。

6 **保育café**（管理棟2階 尚絅子育て研究センター **G**）…………… 講師 柿原一貴、工藤留実  
（こまどり保育園）

日々の仕事の中で、「保育をどうしたらいいんだろう」「こんなこと、今さら聴けないけど、わからない」「保育者として自分はこれでいいのだろうか」などなど、さまざまな悩みや気になることがあると思います。本講座では、みんなで話題を出し合い、お互いがヒントを得て明日への保育の糧にできたらと考えています。

◎ **オフィスアワー** 〈15:30～16:45〉 幼教科員各研究室

卒業生の方は久しぶりの母校で懐かしく思われることでしょう。教員は研究室で待機していますので遠慮せず尋ねてください。また、本校の卒業生以外の先生も大歓迎です。日頃から課題に思っている事や保育に関する悩みなどありましたら、我々と語り合いませんか。

管理棟：小川内、柴田、生野、本吉、栗川  
短大1号館：曾田、森  
短大2号館：市川、安村、二子石、  
竹下、佐藤、増淵、片桐、坂本、横山  
体育館：柿原

各教員の  
研究室